

地域福祉講演会アンケート集計結果

※ 参加者 55名	回答者 50名
-----------	---------

質問 1 今回の講演会に対する満足度はいかがですか。

- ・非常に満足 18人 (36%)
- ・満足 26人 (52%)
- ・普通 6人 (12%)
- ・やや不満 0人 (0%)
- ・不満 0人 (0%)

質問 2 講演会の内容に対し、時間は適切でしたか。

- ・長すぎる 0人 (0%)
- ・やや長い 5人 (10%)
- ・適切である 26人 (52%)
- ・やや短い 15人 (30%)
- ・短い 4人 (8%)

質問 3 講演会の内容は理解できましたか。

- ・良く理解できた 12人 (24%)
- ・理解できた 34人 (68%)
- ・どちらとも言えない 4人 (8%)
- ・あまり理解できなかった 0人 (0%)
- ・理解できなかった 0人 (0%)

質問 4 今回の講演会は、今後のあなたの業務に役に立ちますか。

- ・非常に役に立つ 10人 (20%)
- ・役に立つ 35人 (70%)
- ・どちらとも言えない 5人 (10%)
- ・あまり役に立たない 0人 (0%)
- ・役に立たない 0人 (0%)

質問 5 講演会や研修に参加しやすい時期や時間帯がございましたらお書きください。

- ・下半期 (地域振興課)
- ・今回の時期と時間帯が丁度良い。(地域振興課 外1名)
- ・夏休と予算の時期以外だと参加しやすい。(政策企画課)

- ・ 11月から3月の平日
- ・ 15時から17時
- ・ 午前中（子ども家庭支援センター 外4名）
- ・ 夏季（子ども家庭支援センター 外1名）
- ・ 半日程度の研修だと参加しやすい。（社会福祉協議会）

質問6 今後受講したいテーマがございましたらお書きください。

- ・ 今回のテーマを深掘りしてほしい。（地域整備課）
- ・ リモートによる施策推進に関する研修（政策企画課）
- ・ 民生委員と交流したい。
- ・ 生活困窮者に向けた具体的な支援について（生活支援課）
- ・ 地域包括ケアシステムの様々な事例について（生活支援課）
- ・ 多機関連携の参考となる先行事例について（高齢者福祉課）
- ・ 社会福祉法の改正について（地域包括支援センター）
- ・ 切れ目のないサービスの具体的な内容について（地域包括支援センター）
- ・ 発達障害について（ポケット中央）
- ・ 住民、団体、事業者、行政など、様々な人が平等な立場で参加し合意形成の図れる機会の創出とそのスキルについて（社会福祉協議会）
- ・ 障害者の高齢化に伴う支援について（地域包括支援センター）
- ・ 8050の事例に対しての取り組みについて（地域包括支援センター）

質問7 研修全体を通じてのご意見・ご感想がございましたらお書きください。

- ・ 福祉分野の講演だったが、住民参加の支援や地域福祉のための地域の継続したつながりづくりといった点からは、今の所属（地域振興課）の仕事にも直結する課題であると感じた。大変勉強になった。（地域振興課）
- ・ 地域の見守りの担い手である町会に、会員の減少の問題がある。新住民が町会に入会するような若い担い手づくりに何らかの施策の講ずる必要があると思う。（日本橋出張所）
- ・ コロナウイルス感染症対策として、オンライン講演会の実施も今後検討していいのではないかと思う。（政策企画課）
- ・ 分かりやすい資料と説明だった。（政策企画課 外3名）
- ・ 講演内容は大変分かりやすかったので、中央区における地域共生社会の展望と課題を、都心部の互助、プロアクティブコミュニティ問題へのアプローチも含め、もう少し詳しく聞きたかった。
- ・ 業務にとっても参考になる講義だった。（生活支援課）
- ・ 地域づくりについての仕組み・支援が制度化されたことは今後大きく影響すると思った。（障害者福祉課）

- ・先生の話は大変面白く、勉強になったが、これからの中央区が担っていく役割が難しいものであることが分かった。縦割りではなく、他部署との共同・連携も今後は大事になっていくと思う。(子ども家庭支援センター)
- ・今後、自身の仕事を地域福祉、地域共生社会の一部と捉え、その意識をもっていきたいと思った。(子育て支援課)
- ・もう少し先生のお話をお伺いしたいのもう何回か開催して欲しい。(地域包括支援センター)
- ・地域共生社会の実現に向けて、常に協議され改正されていることを知った。今後、介護の仕事をする上で地域づくりの強化が重要であり大切であると思った。出来ることから一步一步やっていきたい。(地域包括支援センター)
- ・後半部分、保健医療福祉計画の内容についてももう少し聞きたかった。(社会福祉協議会 外2名)
- ・自助・互助・公助について改めて考えるきっかけとなった。(ポケット中央)
- ・後半のところを中心に、第二弾があれば参加したい。(基幹相談支援センター)
- ・現在の地域福祉の潮流について、歴史を振り返りながらおおまかに掴むことができた。(社会福祉協議会)
- ・日々の業務の中で、おとセンだけでは取り組むことが困難なケースが多くなっている。経済面、家庭支援など生活支援課、社協との連携が不可欠になっており、今回の研修で改めて、地域福祉の歴史、法律等からこの流れが今必要なことを再確認した。区の重層的支援体制の整備に期待している。(地域包括支援センター)